

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 6月23日更新

事務事業名		広域交通拠点周辺整備事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	5	都市基盤の健幸		所属部	都市建設部	課長名	原田和彦
	施策	20	計画的な土地利用の推進		所属課	都市整備室	担当者名	上田伸介
	業務分野	63	計画的な市街地の形成		所属班	都市整備班	(内線)	5272
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	都市計画法	
	一般	8	4	9	11839			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 6年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 ~ 6年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	合志市内においては、九州自動車道を始め、中九州横断道路や熊本西環状道路等による県内においても主要な広域交通ネットワークが形成される計画となっている。市内において整備済みあるいは整備予定である広域交通拠点周辺において、地域の特性に応じた土地利用を計画し、施設を誘導・整備することで、新たに広域的な人・物の流れを生み出し、地域の賑わいや活性化を図り、持続可能な健康都市の実現につなげる。
【業務の流れ】	各拠点周辺における地域特性の調査→土地利用現況を踏まえた課題整理→関係機関(県、交通管理者、道路管理者等)協議・調整→整備計画(案)の作成→施設誘導・整備
【主な予算費目】	旅費、委託料

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

本市に整備が予定される高規格道路の各インターチェンジ拠点周辺における地域特性調査や課題整理を行い、今後の有効な土地利用につながる計画作成の委託業務を発注した。

【基準に達しなかった理由】県や庁内関係機関等との協議・調整に不測の日数を要したため。(繰越明許費：12,515千円)

②7年度計画(次年度に計画している主要内容)

県や民間による事業との進捗調整を図り、拠点周辺における道路等のインフラ整備を計画する。

③予算の主な増減の理由

広域交通拠点周辺道路設計委託料の増

成果指標

ア 開発許可を受けた面積

(単位)

h a

データ取得方法

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	6年度		6年度		7年度		8年度		9年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込		
ア	h a			0	0	0	25		25		
イ											
ウ											
事業費	国庫支出金	千円									
	都道府県支出金	千円									
	地方債	千円									
	その他	千円									
	繰入金	千円									
一般財源	千円				5,670	11,253					
(A) 事業費計	千円			0	5,670	11,253	0	0			

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

広域交通の拠点となるICなどが整備されていくことにより、拠点周辺の土地利用を計画的に行っていくことで、成果向上の余地はある。事業費は成果向上のために必要最低限の費用であり削減の余地はない。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)